

滑川民報

第149号
2021年5月発行

連絡先 ☎475-3767
日本共産党滑川市委員会
日本共産党議員団

滑川市議会 3月定例会

市民生活困窮実態 議員団が質問と提言

政治の
記載



古沢利之
滑川市議会議員

古沢 厚生労働省は申請権の侵害はあつてはならない。侵害していると見られる行為も厳に慎むよう通達を出している。承知しているか。
藤田産業民生部理事 本

古沢 コロナ禍のもとで、生活に困窮する方が増えている。昨年12月厚生労働省は、ホームページに「生活保護を申請したい方へ」とのメッセージを出し、「生活保護の申請は国民の権利です。ためら

わずにご相談ください」と掲載した。本市でもこの考え方で対応していると思うが、認識を問う。
藤田産業民生部理事 生活保護は、憲法25条に基づき、現に困窮状態にあればだれでも申請することができると認識している。



滑川市議会3月定例会は、3月4日から3月23日まで開催。市長から提出された令和3年度滑川市一般会計予算、令和2年度一般会計補正予算(第8号)など23議案と、追加提案された人権擁護委員の人事案件3件、また議員提案された「大和堆及び尖閣諸島における安全確保を求める意見書」を可決し、閉会しました。
古沢議員の代表質問、角川議員の一般質問とそれに対する答弁の概要は次のとおりです。

古沢 困窮していても生活保護の申請に踏み切ることができない理由に、親族への扶養照会がある。福祉事務所から、親族に援助ができないか問い合わせるものだが、困窮状態にあるのを親族に知られたくないとして申請を断念する壁になっている。厚生労働大臣は、扶養照会が義務ではないと答えている。これまでの対

人の立場に立ち、丁寧な対応をとっており、申請権の侵害といったことには十分留意している。
古沢 困窮していても生活保護の申請に踏み切ることができない理由に、親族への扶養照会がある。福祉事務所から、親族に援助ができないか問い合わせるものだが、困窮状態にあるのを親族に知られたくないとして申請を断念する壁になっている。厚生労働大臣は、扶養照会が義務ではないと答えている。これまでの対

古沢 新型コロナ対策では、ワクチン接種にしても不確定要素が大きい。正確な情報発信が必要だが、どう考えているか。
石川副市長 ワクチン接種も先が見通せず、市民

の皆さんに統一した計画がお知らせできない。状況が刻々変わるだろうが、新聞折り込み、回覧文書等、様々な手段で正確な情報をいち早く出していきたい。



(一面の続き)

ないとされている。

網谷産業民生部長 保護の要件ではないといったことも理解し、厚労省の通知に基づいて事務を行っていく。

藤田産業民生部理事 本人から事情を聞き、親族との関係も薄い、あるいは期待できないところは扶養照会しない事務と考

えている。
※その後、厚労省は3月30日付で改めて事務連絡を出した。別掲「赤旗日刊紙」紹介記事を参照。

災害対策 豪雪被害 市の独自支援

古沢 豪雪による農業被害で、育苗用を中心として農業用ハウス50棟が損壊した。復旧に国、県からの支援があると聞いている。市の独自支援は考えてい



るのか。

網谷産業民生部長 国の支援は、人農地プランの中心経営体等を対象に事業費の10分の3、県は国の補助を差し引いた額の

※赤旗日刊紙より

生活保護申請時の扶養照会

本人の拒む意向尊重

—厚労省が事務連絡

生活保護申請時に福祉事務所が申請者の親族に扶養照会をかけることが、生活困窮者が申請するためらう原因の一つになっています。生活困窮者支援団体や日本共産党が政府に改善を求めるなか、厚生労働省が全国の福祉事務所に対し、運用の改善を求める事務連絡

を出したことが4月8日までに分かりました。

生活保護の扶養照会に関する事務連絡は「生活保護問答集について」の一部改正について「3月30日付」。適用は4月1日からとしています。

「問答集」には、扶養調査に関して「扶養義務の履行が期待できる」と判断される者に対して行うもの」と明記されました。親族からの扶養の可能性を要保護者に聞き取る中で、「要保護者が扶養照会を拒んでいる場合等にお

10分の3を支援する。農業者の負担は事業費の49%となる。県は、国の支援対象にならない農業者にも10分の3を支援する。市では国、県の支援に上乗せ支援を行うよう検討している。

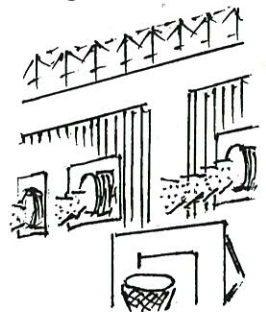


政務活動以外の記事

学校体育館の エアコン整備は 計画的設置を

古沢 災害時に避難施設となる学校体育館へのエアコン設置を、計画的に進める考えはないか。交

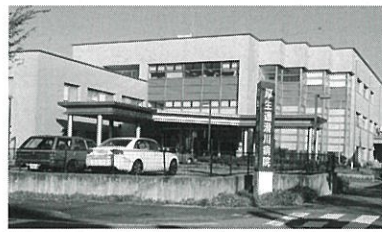
いては、その理由について特に丁寧に聞き取りを行うことを、福祉事務所に求めています。(以下略)(4月9日付)



付税措置がある「緊急防災・減災事業債」が使えると聞いている。

上田教育委員会事務局長 学校体育館は災害時には防寒や熱中症対策が必要になる。被害想定を勘案しながら、優先的に整備すべき箇所の検討も必要と考えている。

「地域医療構想」は 見直し、 撤回を求めよ



厚生連滑川病院

古沢 「地域医療構想」に基づいて、厚生連滑川病院も再編統合の対象とされ、市民は驚いた。しかし、コロナ禍のもと、感染症対策で最前線に立っているのは公立、公的病院だ。病床の削減をもくろむ「地域医療構想」は見直し、撤回を求めるべきだ。

藤田産業民生部理事 地

(3面へつづく)

(2面の続き)

域医療構想は「団塊の世代」が75歳以上となる超高齢社会を迎え、医療資

源の効率的な配置を促すことなどを目的として、県で策定された。市では総合病院を含めた医療提

供体制の充実が最重要課題と考えており、市長が意見を述べる場を設けるよう県に要望した。



角川 新年度予算の災害対策費の中に、新型コロナウイルス感染症対策用品等とある。どういったものを計画しているか。

角川 新年度予算の災害対策費の中に、新型コロナウイルス感染症対策用品等とある。どういったものを計画しているか。

滑川市議会議員

角川 まさと



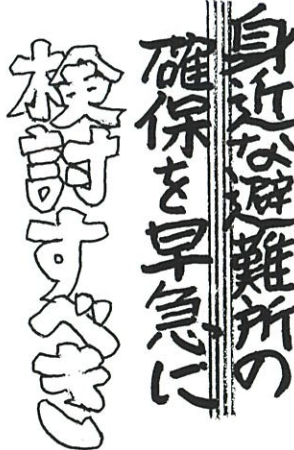
角川 避難所に現在用意されているパーティションや段ボール間仕切りでは、感染症対策の面で少し頼りなく感じるが、互いの間隔を保った避難生活を送るために何か検討されているのか。

角川 2月に相馬市で震度6強の地震があったが、そのとき避難所の様子がニュースで流れていた。体育館だったが中にテントを、間隔を空けて設置していた。先の大震災の時にインフルエンザが流行したことで感染症対策の必要を感じ準備し

ていた成果だが、実際に行ってみると換気などの問題があったという。こうした他所の経験をもとに間仕切りの事などをもっと検討してはどうか。

櫻井主幹 新年度ではその対策用の予算があるの

で、整備の必要なものは増強を図る。また換気が有効な手段と考えている。パーティションやこれまで整備してきた備品を組み合わせて、効果的な感染防止を図りたい。



角川 防災計画の津波対策に、民間施設の活用による避難場所の確保とあるが、実際に協力を得られているのはどのくらいか。

角川 2月に相馬市で震度6強の地震があったが、そのとき避難所の様子がニュースで流れていた。体育館だったが中にテントを、間隔を空けて設置していた。先の大震災の時にインフルエンザが流行したことで感染症対策の必要を感じ準備し

まで逃げることは難しい。そのため海沿いにこそ垂直に避難できるものが望まれている。津波避難ビルとして鉄筋コンクリート造3階以上の建物が望まれているが、逃げる時間がない場合は、こうした建物の2階以上に避難することとある。一時的な緊急避難場所として、2階建てまで範囲を広げて探してみてもどうか。

櫻井主幹 複数の企業と協議したが、セキュリティの問題や、浸水想定区域の問題などにより、現時点では日医工の1社にとどまっている。

角川 海沿いの町内は高齢化が進んでおり、波が来た時に水の来ない地点

櫻井主幹 確かに3階建(4面へつづく)

(3面の続き)

て以上の建物というのは、
厳しいと思うが、時間が
ない場合は堅牢な鉄筋コ

ンクリート造建築物2階
以上へ避難とも書かれて
いる。そうしたビルが付
近にあるか調査すると

もに、その周辺の町内会
などとも一緒に、そうい
った建物があれば協議し
たい。

雪に負けずに

生活するたため

除排雪の制度なども



角川 滑川市では豪雪時
に、高齢者世帯の雪下ろ
し援助に対する補助を
行っているが、改めてホ
ムページで探しても特に
記述が見当たらない。市
民にこの補助の事を知ら
れていないのではないか。
石川福祉介護課長 1月
の豪雪を受け、今年度実
施した。市のホームペ
ジ、トップページの重要
なお知らせ、市広報2、
3月号、民生委員を通じ
て周知を図っている。

があいまいではつきりし
ていない。除雪車が出動
するのと同じように、基
準となる積雪量を決めて
はどうか。
石川課長 積雪や気温に
よって屋根雪の状況が変
化するため、単に積雪量
のみで判断するのは困難
と考える。制度化するに
しても、屋根の雪下ろし
をするような豪雪はまれ
であるため、今後も年度
限りの制度としたい。

角川 確かに雪下ろしを
必要とするような豪雪は
まれになったが、生活道
路や家の周りの除雪は依
然必要である。玄関先に
大量の雪が積もり、玄関
を開けることができない
ケースもある。そこで自
力で除雪をすることがで
きない高齢者世帯に、近
隣住民による除雪のお手
伝いをお願いし、それに
対しての補助は検討でき
ないか。
石川課長 現在、玄関先
の除雪等については、地
域の住民自らが行う地域
ぐるみ除排雪活動など、
隣近所や地域の組織等に
よる助け合い、支え合い
で対応してもらっている。
角川 その隣近所が少な
くなっている。旧町部の
方では空き家が数件並ん
でいる所もあり、そうし
た中で孤立状態になって
いる家も少なくない。そ
んなところで隣近所の力
をただ借りるといっては
厳しい。しっかりと検討し



ワクチン接種

75歳以上の予約は
5月10日から

市は新型コロナウイルスワクチン接種について、65歳以上の高齢者に対して4月下旬から段階的に接種券を発送するとしました。

75歳以上の高齢者の予約は5月10日から、接種は5月24日からとしています。

接種は

無料

滑川市内の

指定医療機関で

接種券

接種券	〇ワクチン
接種先	滑川市
番号	123
氏名	富山

接種場所は厚生連滑川病院など、市内12の指定医療機関で、集団接種は行ないません。接種券が届いてから希望する医療機関に予約して、接種を受けることとなります。

接種は無料ですが、接種の際に接種券、予約票、本人確認書類（健康保険

証など）を忘れないよう呼び掛けています。2回目の接種は、初回接種の3週間後とのことです。

ただし、国からのワクチン供給の時期や配分量によっては、希望どおりに予約できないことがあ

る、ともしています。

てほしい。

石川課長 市で独り暮らし高齢者の登録をしているが、それにより今後支

える側がどんどん少なくなることを認識している。今後検討していきたい。